

大規模水害に対する逃げ遅れゼロの実現に向けて 京都府域の首長が集結し、意見交換を実施！

【令和4年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会 首長会議（京都府域）を開催】



水害時の逃げ遅れゼロの実現に向けた連携に関する意見交換

◆「水害時の逃げ遅れゼロの実現に向けた連携」を議題として、淀川流域内18市町村による意見交換を行いました。

意見交換の内容

★行政機関の「連携」による避難の呼びかけ重要！

- 逃げ遅れゼロを実現するためには、**関係機関と連携した予測情報の事前の情報提供**が重要である。
- 避難の意思決定を促すために、防災行政無線による**首長からの直接的な呼びかけ**や、通常の大雨との違いを認識して頂くために、**近隣市町村と連携した避難情報の発表**も効果的である。
- 正常性バイアスによる逃げ遅れを防ぐため、**行政と地域の連携**を密接に進め、**各地域の避難スイッチ**を把握していかなければならない。
- 気象台や河川管理者からの情報を有効活用**し、的確な避難情報の発令に努めていきたい。
- 水害に備えて、**平時から気象台や河川管理者と最新の防災情報を共有**して連携を強化していきたい。
- 自主防災組織や消防団（水防団）と連携**して、早めの避難を呼びかけていきたい。

★避難の「計画・訓練」と「意識改善」が重要！

- 適切な避難行動を行えるよう、自主防災組織や地域で作成する**避難行動タイムライン**や、住民一人ひとりの**マイ・タイムラインの作成**を京都府や河川管理者と連携して推進していく予定である。
- 自力で避難できない住民の逃げ遅れを防ぐために、防災部局と福祉部局が連携して**要配慮者利用施設の避難確保計画や個別避難計画の作成や訓練の実施**の他、**避難支援者の確保**も重要である。
- 京都南部豪雨から10年の節目の年**であることも踏まえ、**地区防災計画の策定**や**タイムラインの策定**を通じて防災意識の向上を図っていかなければならない。

★平時から減災対策の「共有」や「連携」が重要！

- 広域避難の仕組み作り**や**京都府域全体の防災アプリの構築**などに向けて関係機関の連携が重要である。
- 各市町村が実施している**取組みやその効果を共有**していただくことで、今後の取組みに活かしていきたい。
- まるとまちごとハザードマップの設置**など、関係機関の協力を得ながら進めていきたい。

淀川管内水害に強い地域づくり協議会の活動報告、情報提供・話題提供など

- ◆ 協議会における**令和3年度の活動**を報告するとともに、**今年度の重点取組**である「**要配慮者利用施設における避難確保計画作成及び避難訓練の実施**」の先進事例について確認しました。
- ◆ 洪水予報の発表について、**氾濫危険情報の発表基準の変更**（切迫水位到達の予測による発表）について、淀川河川事務所から情報提供を行いました。
- ◆ **中小河川における河川防災情報の整備**について、京都府から情報提供を行いました。
- ◆ **避難情報発令を支援する防災気象情報の改善**について、京都地方気象台長から話題提供がありました。

◆開催概要

日 時：令和4年7月1日（金）10:00～11:00
場 所：WEB方式（Zoom）による開催
参加者：26機関が出席

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 調査課
〒573-1191 枚方市新町2-2-10 TEL 072-843-2861

